



2024年5月15日

各位

会社名 株式会社 富士ピー・エス
代表者名 代表取締役社長 堤 忠彦
(コード：1848 東証スタンダード市場、福証)
問合せ先 上席執行役員
経営企画室長 小宮 久文
(TEL. 092-721-3473)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、中長期的な企業価値の向上に向けて、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状認識と課題

当社グループは第5次中期経営計画「VISION2030」に定める経営指標として、ROE 7%の維持を目標に掲げております。2022年3月期まではROE 7%以上を維持していましたが、2023年3月期には1.3%と大きく下回り、2024年3月期は、改善傾向にはあるものの4.1%と2期連続で目標を下回る結果となり、株主資本コスト（5.6%と想定）との比較においてもエクイティスプレッド（ROE－資本コスト）はマイナスとなっております。



市場評価を表すPBR（株価純資産倍率）について、2021年3月期までは1.0倍以上を維持していましたが、2022年3月期以降は1.0倍を割り込む状態が続いております。PBR向上の一環として、ROEが安定的に目標水準を達成できるよう、資本コストを意識した経営に取り組んでまいります。



5年間の業績推移

	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
決算年月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
売上高 (百万円)	27,979	27,693	27,301	26,843	28,566
営業利益 (百万円)	935	1,767	1,048	221	564
当期純利益 (百万円)	647	1,327	775	123	415
純資産額 (百万円)	8,196	9,314	9,830	9,928	10,407
ROE (%)	8.10	15.20	8.10	1.30	4.10
配当性向 (%)	24.8	16.0	20.9	131.2	47.7
DOE (%)	2.0	2.3	1.6	1.6	1.9
PBR (倍)	1.15	1.14	0.91	0.81	0.78
1株当たり純資産額 (円)	462.44	525.28	553.89	559.42	585.33

※数値は第69期(2021年3月)を除き、すべて連結決算の数値となります。
 ※第69期(2021年3月)は、連結計算書類を作成していないため、個別決算の数値となります。

2. 改善に向けた方針・目標

現状認識と課題を踏まえ、主要セグメントである土木事業・建築事業の収益性確保、株主還元の充実およびIR活動を強化することにより株価の向上に努め、ROE 8%超、PBR 1.0倍以上への向上に繋げてまいります。

3. 具体的な取り組み

当社グループにおいては、2024年度から建設業で適用される時間外労働の上限規制問題や、世界的なインフレによる原材料価格の高騰など、外部環境の影響を受けてはいるものの、以下の諸施策への取り組みを通して2021年5月12日付開示の第5次中期経営計画「VISION2030」に定めた業績目標を達成することで、ROEとPBRの改善、向上に繋げてまいります。

3-1. 利益確保によるROEの改善

工場設備投資等による既存事業の充実に加えて、新規事業への挑戦・拡大を図るとともに、「工事工場利益改善プロジェクト」にて策定した諸施策の遂行により、2025年度に売上高350億円超、営業利益率5%超の業績目標を達成することで、ROE8%超の実現を目指してまいります。

3-2. 株価向上施策によるPBRの向上

業績目標の達成による利益確保に加えて、下記施策の実現によりPBRの向上を図ります。

① 配当政策の見直し

中期経営計画「VISION2030」においては、配当性向20%超を維持するとしておりますが、株主還元強化による株価向上施策の一環として、配当性向40%を目指すことといたします。

② 自己株式の取得

資本効率向上と株主還元強化の一環として、自己株式の取得について検討いたします。

③ IR活動の強化

積極的な情報開示とIR活動の強化に努めてまいります。

以上